



NEWS LETTER Vol.5

2018.10

平成26年度文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に採択された「極東・北極圏の持続可能な環境・文化・開発を牽引する専門家育成プログラム(通称RJE3プログラム)」は北海道大学とロシア極東にある極東連邦大学(ウラジオストク)、北東連邦大学(ヤクーツク)、太平洋国立大学(ハバロフスク)、イルクーツク国立大学(イルクーツク)、サハリン国立大学(ユジノサハリンスク)の5協定校と共同し、極東・北極圏で活躍が期待される専門家を育成するための日露教育プログラムです。

RJE3「基礎科目」開講

2018.7▶9

「基礎科目」は日露教員による講義形式の「概論」と、日本またはロシアで行われるフィールドワークの「実習」で構成されており、各2単位が付与され、概論と実習の両科目を履修した参加学生には、「基礎科目修了証」が授与されます。今年は7月～9月の期間で行われ、今年度は北大生28名、ロシア人学生25名が参加しました。



2018.8.27▶8.31

-RJE3概論-

極東・北極圏における「歴史と文化」「地域開発」「自然環境」「政治と経済」をテーマとしたオムニバス形式で日露教員による共同講義である「RJE3概論」において、分野横断的な国際的研究の動向やそれぞれのテーマの関係性について知識を習得しました。毎講義ではその日のテーマについて、教員とグループごとのディスカッションの時間が設けられ、グループごとの討議を通して学修内容の他にも日露の異文化理解やコミュニケーション能力を高めるための授業を受けることができました。また概論最終日には、グループごとに成果発表のプレゼンテーションが行われ、日露教員共同の成績評価が行われました。



2018.7▶9

-RJE3実習-

本プログラムでは、ロシア極東・北極圏における重要課題について解決することができる専門家を育成することが目標とされており、特に現場でのフィールド実習を重視しています。本年度は、イルクーツク及びウラジオストクにおいて歴史・文化・民族について学ぶ「シベリア学実習」、ヤクーツクで行われる「環境観察実習」、北海道礼文島の「考古学・人類学実習のための礼文島国際フィールドスクール」、札幌及び近郊都市の「寒冷地開発技術実習」、また今年度初めて開講された、札幌市周辺での「北海道の過去と現在-石狩・空知の歴史-」の5つが開講され、参加学生はそれぞれの専門分野にあった実習を受講し、フィールド実習だからこそ身につく知識と技術を習得しました。



国際運営委員会開催

2018.8.27

本学とロシア側協定校5大学の国際運営委員会の委員が本学に集まり、第6回国際運営委員会が開催されました。今回の委員会では、各大学におけるプログラム実施開始からの5年間における本プログラムに係る成果について情報共有をしました。成果の中には、日本の大学において研究員になったロシア人参加学生や、プログラム参加の経験を活かして助教として働く日本人学生の報告がありました。また大学間の成果としては、本プログラムの実績を基に、コチュテル・プログラムやジョイントマスタープログラムに発展した事例が発表され、来年度以降も今までの実績を活かし、プログラムを継続することが話し合われました。



発行

RJE3プログラム・セントラルオフィス
北海道大学学生交流ステーション1F 学務部国際交流課内

〒006-0815 北海道札幌市北区北15条西8丁目

TEL:011-706-8143 FAX:011-706-8037 E-mail:RJE-3@oia.hokudai.ac.jp

プログラムの
詳細はこちら<http://rje3.oia.hokudai.ac.jp/>